

山口型放牧における放牧牛の省力的監視技術の開発

山口県農林総合技術センター畜産技術部

「山口型放牧におけるアンケート調査」から、山口型放牧に興味はあるものの、「電気牧柵周辺の草刈り(漏電防止)」や「牛の管理」などに不安があり、「牛を遠隔で看視できる機械・システム」や「脱柵を防ぐ・知らせる機械」が欲しいという意見がありました。

そこで当部では、ICT 技術を活用して放牧牛を自宅等に居ながらにして監視することにより、放牧の不安を和らげる以下の技術の開発を目指しています。

- 1) 放牧牛に GPS センサーを装着し、携帯端末上で牛の位置を把握するとともに、牛が脱柵した際に直ちに通知することで素早く脱柵に対応可能なシステムの開発。
- 2) 放牧牛に加速度センサーを装着し、牛が放牧地で何をしているのかを把握しつつ、病気や怪我、発情の兆候を携帯端末上で判断可能なシステムの開発。
- 3) 電牧線の電圧を図る機器を使って、見回りをしなくても電圧の計測や断線・漏電などの不具合を携帯端末上で確認できるシステムの開発。

